

## 第2節 地域の福祉団体を支えましょう

地域福祉を進めるためには、社協のみならず、主体である地域住民や地区福祉推進会、さらには、行政機関や社会福祉法人、福祉サービス事業者、民生委員児童委員、地域包括支援センター等との連携は欠かせません。また、さまざまな事業への支援を通して、地域の福祉団体との連携も図ります。



三福祉団体スポーツレクリエーション大会

### 5-③ 関係機関及び団体との連携

【現 状】 事業を円滑に進めるため、行政や関係機関との連携を図っています。

〈目標〉 行政や関係機関との連携を更に深め、福祉の枠にとらわれずさまざまな関係機関とも関係性を広げます。

《取組》・ 地域包括ケアシステムにおける地域資源との連携  
 ・ 生活困窮世帯対応をはじめとする関係機関との連携強化  
 ・ 市役所各担当課と定期的な協議の開催

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
連携機関団体の拡大	情報収集	事業連携	連携拡大		
定期的な協議	継続的に実施				

### 5-④ 家族介護者交流事業の開催

【現 状】 寝たきり又は認知症高齢者の家族介護者の親睦交流及びリフレッシュの場や機会を提供しています。

〈目標〉 在宅で介護にたずさわる方が気軽に参加できる場所を提供し、参加者がひと時のやすらぎを得たり、お互いの悩みごとを共有し、解決への一歩へ導く機会にしていきます。

《取組》・ 身近な所での事業開催  
 ・ 民生委員児童委員、地域包括支援センター、事業所等への啓発

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
身近な所での事業展開	検討	実 施			
民生委員等への 広報啓発	啓 発				

### 5-⑤ 福祉団体等への支援

【現 状】 各福祉団体に対し、事業推進のための補助金を交付しています。

〈目標〉 福祉団体の活動内容や状況の把握に努め、より適正な補助金を交付し団体活動をサポートをしていきます。

《取組》・ 補助金のあり方についての検討  
・ 団体ヒアリングの実施

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
あり方検討	団体ヒアリングの実施 財政部会で検討	周知		実 施	

### 5-⑥ 三福祉団体スポーツレクリエーション大会への支援

【現 状】 手をつなぐ育成会、身体障害者福祉会、単親家庭の会を中心とした三福祉団体で行うスポーツレクリエーション大会への支援をしています。

〈目標〉 新たな参加団体の募集を図り、よりレクリエーションに重点を置いた、誰もが楽しめる内容を取り入れていきます。

《取組》・ 大会内容の見直しと検討

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
内容変更		見直し検討		実 施	

### 第3節 社協の基盤強化

これまでも社協の事業は、多くの市民のご理解とご協力により支えられてきましたが、少子高齢化の進行とともに近年の経済不況により、財源確保のみならず、地域における活動への協力者の確保も大きな課題となっています。今後も、社協のさらなる基盤強化を図り、地域福祉活動のなお一層の充実に向けて「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を追求していきます。



赤い羽根募金街頭募金

## 5-⑦ 財政基盤の強化

### 【現 状】

#### ○社協会費

地域福祉推進のため毎年6月を社協会費月間としています。

普通会費 町内会（区）を通じて各世帯からいただく会費

特別会費 民生委員児童委員を通じて篤志や法人からいただく会費

団体施設会費 福祉団体や施設等からいただく会費

#### ○寄附金

市民や企業、団体等から寄せられる寄附金を地域福祉推進のために活用していません。

〈目標〉 地域福祉推進のため、社協の財源確保は最重要事項であり、地域住民、企業の理解が得られるよう、役職員が一丸となって基盤強化に取り組みます。

《取組》・社協の福祉活動に賛同を得られるようなPR強化

- ・会費収入の増強
- ・特別会費の内容検討

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
社協事業のPR (ウェブサイト充実、 チラシ内容の検討)		検 討		実 施	
会費の増強 (収納方法、 対象者の拡大)		検 討		実 施	
特別会費の内容検討		検 討		実 施	

## 5-⑧ 赤い羽根共同募金

### 【現 状】

#### ○赤い羽根募金

毎年10月～12月に町内会連合会、民生委員児童委員をはじめ、学校や企業、団体の協力のもと募金活動を実施しています。募金は、ふれあい・いきいきサロンや障害者福祉活動への支援などに活用しています。

#### ○歳末たすけあい運動

毎年12月に町内会連合会、学校や企業、団体の協力のもと募金活動を実施しています。募金は低所得世帯や児童養護施設等に入所している児童及び里親、両親のいない児童に慰問金をお届けしています。

〈目標〉 募金活動には地域住民、関係機関、企業等の協力が必要不可欠であるため、理解が得られるよう共同募金の仕組みや用途などを明確にし、PRをしていきます。

#### 《取組》・赤い羽根共同募金活動のPR強化

- ・ 用途を限定した目的別募金の導入を検討
- ・ 募金箱設置へ協力企業、店舗の拡大
- ・ 歳末たすけあい運動の周知、広報の強化

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
共同募金のPR (社協ブログの活用)	検 討 ・ 見 直 し ・ 実 施				
募金活動の見直し (目的別募金、 設置場所の拡大)	検 討		実 施		
歳末たすけあい運動 の周知、広報の強化 (ポスターや媒体の活用)	検 討		実 施		

### 5-⑨ 組織体制・職員体制の強化

- 《取組》・理事、評議員等を中心に構成されている専門部会を有効かつ積極的に開催し、事業に対する意見を伺います。
- ・職員体制については人数の問題だけでなく、個々の質の向上に努めるとともに、各事業の評価検証を行い、適正な職員数の確保に努めます。

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
組織体制の強化	専門部会を開催し、役職員一丸となって本会を円滑に推進していく				
職員体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々人の質の向上を図るために、積極的に研修会参加の促進を行うとともに個人面談を実施</li> <li>・適正な職員数の確保に努める</li> </ul>				

### 5-⑩ 地域福祉活動計画の評価

【現 状】 第4次地域福祉活動計画の進捗状況の評価、検証を行います。

〈目標〉 各事業の進捗状況を確認し、計画どおりに実行されているかについての評価検証を行い、中間評価を実施します。

《取組》・事業内容の評価・検証

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
評価・検証	進捗状況の検証		中間評価	評価検討をふまえ 新計画策定	